

## 編集後記

この年報は、設立 61 年をこえた南山大学人類学研究所が、従来あったニューズレターや所報から一新して、内外の研究者による議論と情報発信の場として機能することを期して、あらたに創刊したものである。所長による巻頭言にもあるように、考古学はもちろん、周辺の諸学問領域をもふくめて、人類学に関わる幅広い問題領域を幅広く取り上げていきたいと考えている。

創刊号ということもあって、執筆者や査読者とのやり取りに時間がかかるなど、作業がなかなかスムーズに進まなかったところがあった。また、これは査読制度を採用すれば当然のことではあるが、ご投稿いただいた原稿の修正が結果的に間に合わなかったりし、当初の見込みよりも掲載本数がすくなくなってしまうということにもなった。こうした点は、次年度以降の課題と考えている。

なお、この年報は電子ジャーナル版を本体とするが、すくなくとも当面は冊子での刊行も継続する。

最後に、執筆者、査読者、そして編集に関わってくださったおおくの方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

(吉田 竹也)